気づこう！ 学ぼう！ 考えよう！

長野県 人権フェスティバル 2026

12月10日（木）は「世界人権デー」です

※1948年12月10日に「世界人権宣言」が国連で採択されました。

長野県県民文化部人権・男女共同参画課のYouTubeチャンネルで配信します。

令和8年12月4日（金）より公開 —— 公開終了 令和9年2月28日（日）予定

当たり前に、誰もが持っている「人権」。
人権を身近な問題として学び、理解を深めていただくため
長野県人権フェスティバル2026を開催します。

長野県人権フェスティバル2026WEBサイト
（長野県公式ホームページ）

1. 県内小中学生及び高校生の作品紹介

- 全国中学生人権作文コンテスト 長野県大会
- 令和8年度人権意識の高揚を目指すポスター・4コマ漫画

2. 人権講演会

人権全般

その一言、その投稿が人権侵害になるとき

知らないうちに加害者とならないために



弁護士法人長野第一法律事務所
弁護士
一由 貴史 氏

子どもの人権

子どもの人権



永野・山下・平本法律事務所
弁護士
山下 敏雅 氏

ジェンダー平等

ジェンダー平等は、わたしたちの身近なところから



一般社団法人 GENCOURAGE
代表理事
櫻井 彩乃 氏

長野県人権フェスティバル https://www.pref.nagano.lg.jp/jinken-danjo/jinken_festival2026.html

■ 主　　催：長野県人権啓発活動ネットワーク協議会
（長野地方法務局、長野県人権擁護委員連合会、長野県、長野県教育委員会）

■ 問合せ先：長野県県民文化部人権・男女共同参画課
（電話番号：026-235-7106 ／ メールアドレス：jinken-danjo@pref.nagano.lg.jp）

「長野県人権フェスティバル2026」配信視聴のご案内

1. 県内小中学生及び高校生の作品紹介

全国中学生人権作文コンテスト長野県大会

法務省と全国人権擁護委員連合会では、次代を担う中学生の皆さんに、日常の家庭生活や学校生活等の中で得た体験に基づく作文を書くことを通して、人権尊重の大切さや基本的人権についての理解を深め、豊かな人権感覚を身に付けてもらうことを目的として、昭和56年度から「全国中学生人権作文コンテスト」を実施しています。「長野県人権フェスティバル2026」では、令和8年度に県内の中学生から応募があった作品の中から、入賞作品の紹介及び朗読を行います。

令和8年度人権意識の高揚を目指すポスター・4コマ漫画

長野県教育委員会では、児童生徒の人権意識の高揚を図るため、県内の国公立及び私立の小・中・高等学校から人権課題に関するポスター・4コマ漫画を募集し、優秀者を表彰しています。「長野県人権フェスティバル2026」では、令和8年度に応募があった作品の中から、入賞作品を紹介します。

2. 人権講演会

テーマ **人権全般**　講演時間 約60分



その一言、その投稿が人権侵害になるとき

ー知らないうちに加害者とならないためにー

一由 貴史 氏　弁護士法人長野第一法律事務所 弁護士

2006年弁護士登録。2007年より弁護士法人長野第一法律事務所に所属。長野県弁護士会では副会長(2016年度、2025年度)、消費者問題対策委員会委員長、人権擁護委員会委員長、司法制度調査会委員長などを歴任。長野県人権政策審議会会長、長野県環境審議会専門委員などの公職にも携わる。現在、長野家庭裁判所家事調停委員。過労死・過労自殺などの労災事件、労働問題、企業法務、相続、刑事事件、行政訴訟等を幅広く取り扱うほか、著作権・商標権などの知的財産、事業承継・M&A、創業支援、宗教法人法務にも取り組んでいる。

テーマ **子どもの人権**　講演時間 約60分



子どもの人権

山下 敏雅 氏　永野・山下・平本法律事務所 弁護士

1978年高知県生まれ、2003年東京弁護士会に弁護士登録。川人法律事務所、弁護士法人東京パブリック法律事務所(公設事務所)の勤務を経て、2012年現事務所設立。子どもの事件のほか、過労死事件、セクシュアルマイノリティ支援、HIV陽性者支援等に取り組む。東京弁護士会子どもの人権と少年法に関する特別委員会委員、豊島区子どもの権利擁護委員、東京都・江戸川区児童相談所、荒川区子ども家庭総合センター(児童相談所)協力弁護士等を務める。ブログ「どうなってるんだろう?子どもの法律」(https://ymlaw.txt-nifty.com)を随時更新中。

テーマ **ジェンダー平等**　講演時間 前編20分/後編20分



ジェンダー平等は、わたしたちの身近なところから

櫻井 彩乃 氏　一般社団法人 GENCOURAGE 代表理事

高校2年生のとき、同級生の一言をきっかけにジェンダー平等の実現を目指して活動を始める。「#男女共同参画ってなんですか」代表として若者の声を集め、第5次男女共同参画基本計画の策定に際して担当大臣に提言書を提出。ベンチャー企業や国際NGOでの勤務を経て、現在はジェンダー平等について学び、つながり、行動する次世代のサードプレイス「ジェンカレ」を運営。国や地方自治体の各種審議会委員も務め、若者の声を政策に反映させる活動を展開している。



アンケートに御協力をお願いします。

長野県人権フェスティバルのページから視聴者アンケート記入フォームにアクセスできます。
視聴後はアンケートに御協力をお願いします。